

問1 東北地方の農業統計において、各県の土地利用の状況を比較したとき、青森県は総面積が広いものの、その総面積に対する耕地面積の割合は約15.5%にとどまります。これに対し、宮城県は約17.2%と青森県よりも高い割合を示しています。このように、宮城県において総面積に対する耕地面積の占める割合が比較的高くなっている地理的要因と、その農業の特徴として最も適切なものはどれですか。 (2024年 宮城県公立入試 類似)

1. 県内に仙台平野という広大な平坦地を有しており、そこでの稲作を中心とした農業が古くから発展しているため。
2. 北上山地を中心とした大規模な畜産業が展開されており、飼料を生産するための耕地が県全域に分散しているため。
3. 蔵王山麓の傾斜地を果樹園として大規模に開墾しており、リンゴやサクランボの産出額が県全体の農業産出額の過半数を占めるため。
4. 県の総面積が東北地方で最小であるため、実際の耕地面積が狭くても統計上の数値が自動的に高くなる傾向があるため。

問2 2013年の農業産出額の統計において、米の割合が34.6%と最も高く、次いで畜産が30.0%を占めている地域の農業的特徴として、最も適切な説明はどれですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 平地が少ないため、傾斜地を利用したみかんやぶどうなどの果樹栽培の割合が最も高い。
2. 大消費地に近い利点を生かし、野菜の産出額が全体の4割を超える近郊農業が中心となっている。
3. 広大な土地を活用した畜産業が最も盛んであり、産出額の5割以上を豚や肉用牛が占めている。
4. 冷害対策などの品種改良を進め、米の単作地帯から畜産や果樹を組み合わせた複合経営への転換が進んでいる。

問3 東北地方南部に位置する福島県では、高速道路の沿線などに「工業団地」が多く造成されている。このように、福島県で内陸部の工業が発展した背景として最も適切な説明はどれか。 (2017年 千葉県公立入試 類似)

1. 高速道路などの交通網を利用することで、東京などの大都市圏へ製品を迅速に輸送できるため。
2. 大規模な稲作を行うための広大な土地が不足しており、農業から工業への転換を急いだため。
3. リアス海岸を利用した港湾施設が未発達であり、陸上輸送に頼らざるを得ないため。
4. 内陸部は海沿いに比べて冬の降雪量が非常に少なく、工場の操業を安定させやすいため。

問4 東北地方の太平洋側に位置し、岩手県の南、福島県の北に隣接する県があります。この県は北部において海岸線が複雑に入り組んだ地形を持ち、その穏やかな波を利用してカキやワカメなどの「育てる漁業」が盛んなことで知られています。この県の名前を次の中から選びなさい。 (2019年 広島県公立入試 類似)

1. 山形県
2. 秋田県
3. 宮城県
4. 福島県

問5 日本の農業試験場では、水田に複数の品種名が書かれた立て札を立て、それぞれの生育状況を比較する試験栽培が行われています。東北地方において、このような研究が特に重視されてきた地理的・気象的背景を説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2026年 沖縄県公立入試 類似)

1. 冬の季節風がもたらす豪雪による農作物の倒伏を防ぎ、収穫時期を春先に早めるため。
2. 越後山脈を越えて日本海側に吹き下りる乾燥した高温の風による干害を防ぐため。
3. 夏季に太平洋側から吹き込む冷たい風によって発生する冷害の影響を最小限にするため。
4. 梅雨の時期に雨が降らない空梅雨（からつゆ）による深刻な水不足を克服するため。

問6 東北地方の都道府県の位置関係について述べた文として、最も適切なものを1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)

1. 岩手県と青森県は直接接しておらず、間に秋田県が位置している。
2. 秋田県と山形県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。
3. 青森県と秋田県は直接接しておらず、間に岩手県が位置している。
4. 福島県と岩手県は直接接しておらず、間に宮城県が位置している。

問7 日本の各地域における農業産出額の品目別割合を比較したとき、米の割合が約35%に達し、提示された他の地域と比べて米の比率が極めて高いという特徴を持つ地域はどこですか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

1. 関東地方
2. 東北地方
3. 近畿地方
4. 九州地方

問8 東北地方の地図において、奥羽山脈の西側（日本海側）から青森県にかけての広い範囲が共通の気候区分として示されることがあります。この地域の冬の気候メカニズムと特徴について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 福島県公立入試 類似)

1. 冬の季節風が奥羽山脈を越えて乾燥した風として吹き下ろすため、雪はほとんど降らず、1月の降水量は100mm未満と非常に少なくなる。
2. 夏に吹く冷たく湿った「やませ」の影響が冬まで残るため、1年を通じて降水量が多く、1月の平均気温は氷点下にはならないが日照時間が極端に短い。
3. 冬の季節風が日本海を渡る際に水蒸気を蓄え、それが奥羽山脈などの山地にぶつかることで雪を降らせるため、1月の平均気温が氷点下になるなど寒さが厳しい。
4. 太平洋側から吹き込む暖かくて湿った空気の影響を強く受けるため、冬でも比較的温暖であり、1月の平均気温が氷点下になることはほとんどない。

問9 日本の地域区分に関する問題です。日本地図において岩手県の位置が示されているとき、この県が含まれる地方区分の名称として正しいものを選びなさい。 (2018年 北海道公立入試 類似)

1. 近畿地方
2. 中部地方
3. 東北地方
4. 関東地方

問10 東北地方の果樹栽培について、2015年の統計でりんごの収穫量が全国1位であり、西洋なしの収穫量でも全国2位となっている県はどこですか。 (2017年 山口県公立入試 類似)

1. 福島県
2. 山形県
3. 青森県
4. 岩手県

問11 岩手県の伝統的工芸品である南部鉄器は、近年ではデザイン性の高いカラフルな急須が開発されるなど、海外でも高い評価を得ています。このような「伝統的工芸品」が指定を受けるための条件や背景について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)

1. 100年以上の歴史があり、日常生活で使用されるものを、伝統的な原材料と熟練した手仕事によって製造している。
2. 地域の観光客向けのお土産品として戦後に新しく考案されたもので、歴史的な背景は問われない。
3. 最新の全自動機械を導入した工場で大規模生産を行うことにより、品質の均一化と低価格化を実現している。
4. 原材料には必ず海外から輸入した希少な鉱物を使用し、最新の科学技術を用いて加工しなければならない。

問12 東北地方の産業について述べた次の文の空欄にあてはまる用語の組み合わせとして、正しいものはどれですか。「東北地方の山間部や積雪の多い地域では、冬の（X）を利用した（Y）として、漆器や鉄器などの製作が古くから行われてきた。これらは現在、伝統的工芸品として指定されているものも多い。」 (2017年 岡山県公立入試 類似)

1. X：農閑期 Y：副業
2. X：農繁期 Y：副業
3. X：農閑期 Y：商業
4. X：農繁期 Y：工業